育鵬

第87号

天高育友会報
平成28年3月1日 発行
発行　県立天草高校育友会
編集　天高育友会文化広報委員会
印刷　ワタナベデザイン

一歩一歩　未来へ

育友会 会長
鶴田　博道

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。天草高校での学びは、皆様にとりましてどのような高校生活でしたか。

仲間と共に学習や部活動に励み、達成感や挫折感を味わった事、将来の夢や目標を語り合いながら人格を形成してきた、思い出多い三年間ではなかったかと思います。

更に、天草高校だから学べたこと、正しく清々しく、心身共に強く逞しく、心広く優しく、校訓「正大・剛健・寛厚」は卒業後も「人」として大切なことではないかと思います。天草高校で学んだ三年間を、自信と誇りを大きな力としてこれからも頑張ってほしいと願います。

社会は日々大きく変化していきます。グローバル化が進み現代では考えられないビジネスが誕生し、更に宇宙へも簡単に飛び立つ時代となるかもしれません。反面、地球環境等も大きな課題となります。しかし、どのような時代でも基本は「人」として生きる力です。

自分の夢を持ち続ける事、夢を叶えるために強い目標を定め、目標を一つひとつ積み重ねていくことで大きな夢につなげてほしいと思います。そして、大切にしてほしいのは人との出会いと繋がりと「ありがとう」のことばです。

これから歩む人生、楽しい事、辛い事、悲しい事、いろんな体験をすると思います。そんな時いつも前を向いて笑っていてほしい、そんな辛い時は、天草高校で学んだ事や共に頑張った仲間の事、先生から頂いた言葉を思い出し、時には校歌を歌いながら新しい力を生み出してほしいと思います。

時には休みながらも力強く歩いていきましょう。でも「どうしても…」という時は、高校時代を過ごした「ふるさと天草」はとても暮らしやすい素敵なところであることを思い出して下さい。

これからも「求學志成」求めて学べば志は成る。多くの事を学びながら、自分、周りの人、日本の人、そして世界の人々が明るく笑顔で暮らせる社会を、みなさん一人ひとりの力で築いてください。一歩一歩未来へ歩いて下さい。素敵な出会いと胸を張り笑顔で活躍される事を心から願っています。

「厳しい冬ほど　春の花は美しい」

校　長
前田三千治

無事卒業の日を迎えることができました3年生の皆さん、保護者の皆様、おめでとうございます。さて、卒業生の皆さん、三綱領「正大」「剛健」「寛厚」のもと、また教育スローガン「求學志成」を胸に過ごした3年間はどうでしたか？　過ぎてしまえば3年間は短いですが、修学旅行、マラソン大会、体育大会、文化祭など印象に残っている行事や高校総体・総文祭など様々な出来事や思い出があると思います。そして、当たり前と思っていた友との語らいや先生方の熱い授業、課外、部活動や寮生活などを失うとき、寂しさや悲しさを感じることでしょう。

ところで、今年の冬、暖冬だと思っていたらすごい寒波がやってきて天草も大雪に見舞われました。これまでの暖かさの帳尻を合わせるかのような寒さでしたが、暖かい冬は春に咲く花にはよくないと言われているので、その点では良かったのかも知れません。ある時期に厳しい環境が必要なことは人間も同じかなと思います。

人は思い通りにいくばかりではなく、うまくいかない時もあります。その時は、今はこれからの飛躍に必要な冬の時代で、きっとすばらしい春がやって来ると思い頑張ってください。金星探査機「あかつき」は、5年ぶりにめぐってきた周回軌道投入に成功しました。1回の失敗であきらめず、次のチャンスに対して周到に準備をして待ちかまえていた結果でした。あきらめないこと、チャンスを掴むためにしっかり準備をすることの大事を知る良い例だと思います。

最後に卒業生の皆さんへ、「我見の見」と、「離見の見」ということばを送ります。「我見の見」は自分で見る（想像する）自分の姿で、「離見の見」は他人の目に映っている自分の姿です。人は、他人と関わりを持つ人間社会の中で生きていきますが、自分の状態を見失うことなく自分らしく生きていってほしいと思います。たった1回の誰も代わってくれない人生です。運命は外から来るのではなく、自分で「命を運ぶこと」と覚悟して、これからも精一杯生きていってください。

卒業生に贈る言葉

3学年主任
金子誠一郎

卒業生236名の皆さん、卒業おめでとう。また、本日卒業を迎えられた保護者の皆様、本当におめでとうございます。

天草高校での3年間はどうでしたか？入学して間もないころから、毎日の予習や復習に追われ、必死で毎日の課外から授業を乗り切ってきました。部活動では毎日遅くまで活動し、大会やコンクールなど早朝からの遠征に励み、仲間と良い思いも悔しい思いもしてきたと思います。そのような活動を通し、3年間の多くの時間を学校で仲間とともに過ごし、とても密度の濃い3年間を過ごしてきたのではないでしょうか。

15歳で高校入学をしたころはまだまだ幼さもあり、この3年間で自分のこれからを見据えた進路選択をしていくことは、とても大変だったと思います。しかし、その目標実現のために、毎日遅くまで受験勉強に励み、自分の目標に一歩ずつ進むことは、これからの道を進むうえでとても大切なことだったと思います。私たちも、そのような皆さんの姿に毎日力をもらうことで、頑張れた思います。

今、「社会で求められる力」には、未知の問題を見つけ、それを仲間とともに解決する能力や、人ときちんとしたコミュニケーションが取れる能力が必要とされるといわれます。しかし、皆さんは天草高校で「求めて学べば志は成る」を実践し、「正大・剛健・寛厚」の精神で思いやりのある強い人になるための経験を多く積んできました。それは、これからの社会で必ず必要になる経験です。今後、ぜひ生かしていってほしいと思います。

生物学者ラマルクは、用不用説という進化論を唱えた方です。その中で、「鳥が空を飛ぶのは羽があるからではなく、飛びたいと思ったから羽ができたのだ。」といいました。意志あるところに道はできる。やろうと思ったことを思い切ってやってみれば、必ず結果につながります。いい準備をして、仲間を大切にして、誰かのためにこれからの人生を送ってください。そして、ときどきは皆さんの経験を後輩たちにも伝えに来てもらえればと思います。私たち天草高校職員一同、今後の皆さんの活躍を期待しています。卒業、本当におめでとう。

修学旅行

題字 1年2組 福島ゆうか

平成28年1月18日(月)～22日(金) 4泊5日

行程
- ●18日(月)　熊本出発⇒群馬県「ホテルグリーンプラザ軽井沢」　※東京の大雪の影響で飛行機が1時間半遅延
- ●19日(火)　スキー研修
- ●20日(水)　午前スキー研修⇒雷5656会館(夕食会場)⇒東京「新宿ニューシティホテル」
- ●21日(木)　東京都内自主研修
- ●22日(金)　ホテル発⇒浅草散策⇒羽田空港⇒福岡空港⇒天草高校着

スキー研修に向かうバスの中のようす

スキー研修 1日目は絶好のスキー日和！

2・3日目 スキー研修のようす

たくさんの雪に大興奮！

スキー場で食べるカレーの味は格別！

グリーンプラザホテルでの夕食バイキング

東京スカイツリー

雷門前にて

渋谷　ハチ公にて

東京ドーム

4日目 東京都内自主研修のようす

原宿の竹下通りにて

浅草　浅草寺にて

明治神宮にて

本当に最高の時間

1年1組
吉本　敬洋

最高の4泊5日の修学旅行が終わりました。毎日がとても楽しくて数えきれない沢山の思い出ができました。

軽井沢でのスキーは、地元天草では見ることのできないあたり一面の銀世界。寒かったですが景色はとても綺麗でした。人生初のスキーは、何度も何度もこけましたが徐々に上達し楽しく滑れてスキーが大好きになりました。東京自主研修では、憧れの東京の街を歩き、沢山買い物して、電車でいろいろな所に行けて楽しかったです。そして何よりも東京スカイツリーを間近で見た時の衝撃は忘れられません。東京を回るのは一日では物足りなさもありましたが、何よりも班全員でずっと笑い合って本当に最高の時間になりました。

この修学旅行を通して感じたことは、友達がいることの素晴らしさや大切さ、そして何よりも、先生方・家族・旅行先でお世話になった全ての人々への感謝です。これからもこの感謝の気持ちを忘れず、何事にも前向きに最後まで頑張りたいと思います。

驚きの東京自主研修

1年6組
平山二千佳

4泊5日、東京へ修学旅行に行って、クラスの友達との仲がより深められたと思います。一番思い出に残ったのは、東京自主研修です。東京駅は、レンガ造りの駅舎を見ることができ、お台場ではフジテレビ内にあるめざましテレビのスタジオを間近で見ることができました。渋谷に行くと、テレビ番組のインタビューをされている人もいて、改めて都会だと感じました。また、ハチ公像と写真を撮り、スクランブル交差点を往復しました。テレビで見る景色が自分の目の前に広がっていて不思議な感じがしました。竹下通りでは、たくさんの買い物もでき、満足のいく自主行動になりました。私が一番驚いたのは、天草の魚がとれたて新鮮でおいしいかいうことです。お米も家に帰って食べた白ご飯のほうがおいしかったし、ありがたみを感じました。一生のうち一度は都会に出て働きたいと思うけど、いつでも天草を恋しく思う気持ちは薄れないだろうと思いました。

事業報告　天草高校「家庭教育推進事業」親と子で「語り合う」「学び合う」「育ち合う」

保護者
宮川　美紀

期日：平成27年12月23日(水)天皇誕生日
場所：学習センター2階大研修室
主催：天草高校育友会、天草高校生徒会
参加者：育友会役員・生徒会役員
一・二学年保護者

天草教育事務所社会教育主事　桑原秀明先生を講師にお招きし、『情報化社会の生活力「スマホは足・非・スマホをうまく使いこなすために」』と題し、講話とワークショップが開催され、保護者の一人として参加しました。

講話の中で、子どもが携帯電話を持つ場合は、フィルタリング機能が義務と県の条例で決まっていること、スマホを使うことでいちばん削っている時間は、睡眠時間であることなどを知ることができました。

ワークショップでは、生徒・保護者で本音の意見交換を行い、スマホの使い方について様々な意見を出し合いました。子どもの意見を聞くと、頭ごなしに「使ったらダメ」と言うだけではいけないと感じました。

まとめに「最強のフィルタリングは家庭」というお話がありました。情報化社会においては、スマホを全く使わないということはできません。最強のフィルタリングとなるよう、安全な使い方について家族で話し合う時間を持つために、保護者も一緒にしっかり勉強していきましょう。

部活動実績　平成27年12月～28年2月

演劇部
- ■第64回熊本県高等学校演劇大会　優良賞

吹奏楽部
- ■第41回九州アンサンブルコンテスト熊本支部予選
  金賞　クラリネット四重奏、金管八重奏
- ■第61回熊日学生音楽コンクール
  優秀賞　永野　裕喜（3年5組）
- ■第61回熊本県高等学校文化連盟吹奏楽部新人コンクール　金賞
- ■第1回JBAソロコンテスト熊本県大会
  金賞　フルート　谷口　春華（1年4組）
  ※九州大会出場

書道部
- ■第51回熊本県高等学校書道展
  最優秀賞　松本　萌華（2年5組）
  ※7月に広島で行われる全国高等学校総合文化祭に出展
  奨励賞　高田智佳・渡邊　翠（1年1組）
  奨励賞　松本直子・福島ゆうか（1年2組）
  奨励賞　荒木寧音（1年5組）

写真部
- ■平成27年度前期写真コンテスト
  入　選　渡邊　彩奈（2年4組）

昨年12月九州大会に出場した男子ソフトテニス部 岡元・濱田ペア

2年5組
岡元　修平

2年4組
濱田就太郎

私達が初めて九州大会を経験して思ったことは、自分の甘さと目指すべき目標についてです。今まで、県大会までしか経験をしていない私達は、その経験の少なさから、九州大会や全国大会で勝つことにこだわることができていませんでした。実際に、九州大会当日も、自分達のプレーを続けることができず、悔しい負け方をしてしまいました。だから、この悔しさをバネに、この冬と春を常に力を出し切りながら練習する覚悟です。そしてこれからは、目指す場所を県の頂点ではなく、九州・全国のトップにおき、チーム一丸となってその目標に向けて、勝ちにこだわって努力したいと思います。

最後に、九州大会に出場できたのは、自分達の力だけではなく、保護者の応援、監督の指導、そしてチームメイトの支えがあってのことなので、多くの人に感謝をして、ソフトテニスをしていきます。これからも応援よろしくお願いします。

【その他】
- ■第3回印鑑造力、無限大∞高校生ビジネスプラン・グランプリ
  高校生ビジネスプラン・ベスト100
  おーしゃんず天高　1年5組
- ■第61回青少年読書感想文全国コンクール県審査
  入　選　木山　夢菜（2年4組）
  佳　作　江口倭可奈（2年2組）
  佳　作　坂田　真慶（1年6組）
- ■第50回西日本読書感想文コンクール県審査
  入　選　田尻　真鈴（1年3組）
  入　選　水本　真弓（1年5組）
  入　選　原田　昇侑（1年6組）

書道選択者
- ■第22回熊本県高等学校書道紙上展
  大　賞　松本　萌華（2年5組）
  原田　明奈（2年5組）
  準大賞　赤崎　令那（2年1組）
  坂本　拓海（2年2組）
  松本　直子（1年2組）

【検定】
- ■平成27年度第2回英語検定
  準1級合格　山田　華乃（2年5組）

定期演奏会のごあんない

コンクール課題曲や
ものの姫パイライトなどを演奏します。
天高吹奏楽部の音楽を
ぜひ聞きに来てください♪♪

▼3月20日(日)
▼14時開演（13時30分開場）
▼天草市民センター体育館

編集後記

▼育鵬の発刊に携わり、多くの保護者の方や先生方が生徒のことを思い、一生懸命に力を尽くされていると感じました。天高生は幸せ者です。
文化広報委員長　宮本　諭
文化広報委員会一同
担当　藤岡　朋先生